

フィッチ、ニッシン債権回収株式会社のサービサー格付を据え置き

フィッチ・レーティングスー東京/ロンドン/ニューヨークー2006年12月28日：

フィッチ・レーティングス（「フィッチ」）は、ニッシン債権回収株式会社（「ニッシン」）のアセットバックト・スペシャルサービサー格付を「ABSS2-（JPN）」に、コマーシャルモーゲージ・スペシャルサービサー格付を「CSS3+（JPN）」にそれぞれ据え置いた。

本格付は、急激なポートフォリオの成長の中でも安定した業績を維持しているニッシンの強力で経験豊富な経営陣や回収担当者の実力、および、成長の持続と多様化する業務に適切に対応するためにリスク管理体制および内部統制が強化されたことを反映している。

ニッシンは2001年7月に、大手ノンバンクで東京およびニューヨークの証券取引所に上場しているNISグループ株式会社（「NIS」）の子会社として設立された。その後2004年に東京証券取引所のマザーズに上場し、現在は、NISが75%を保有する同社の連結対象子会社である。

ニッシンは法務省よりサービサーの許可を得て、無担保・担保付債権の回収業務を行ってきており、設立後2006年3月末までに46,000件、約2兆9,970億円の債権を取り扱っている。

フィッチのサービサー格付は、取扱債権の種類、及びサービシング機能によってそれぞれ3種類ずつに分かれており、格付は、最上位の1（「完全な承認（全般的に優秀なパフォーマンス）」）より5（「条件付き承認」）の五段階に分かれている。なお、各段階に対して、+（プラス）または-（マイナス）の符号を付ける場合があるが、これら+（プラス）または-（マイナス）の符号は、その段階の中でも相対的にレベルが高いことまたは低いことを示している。また、JPNの符号は日本のサービサー格付に付けられるが、当該格付が日本の法的、経済的、社会的環境と関連していることを示すものである。格付の定義など詳細については、フィッチのレポート「日本のサービサー格付基準（2006年4月26日）」に記載されている。上記レポートはフィッチのウェブサイトで公開されている。（アドレスは日本語：www.fitchratings.co.jp、英語：www.fitchratings.com）

ニッシン債権回収株式会社に関するサービサー格付分析レポート（英語および日本語）の改訂版は、近日中にフィッチの日本語ホームページに掲載される予定である。

照会先：

上野 光宏 Tel: 03 3288 2605 E-mail: mitsuhiro.ueno@fitchratings.com

犬飼 真記子 Tel: 03 3288 2971 E-mail: makiko.inukai@fitchratings.com

ダイアン ペンドレー Tel: +1 212 908 0777 E-mail: diane.pendley@fitchratings.com

大迫 政子 Tel: +1 212 908 0546 E-mail: masako.osako@fitchratings.com

メディア照会先：尾崎 千夏（東京）03-3288-2679

フィッチの格付の定義および格付に使用する用語は弊社のウェブサイト www.fitchratings.com/ www.fitchratings.co.jp（日本語）に掲載されています。公表された格付、格付基準、格付手法も同サイトに常時掲載されています。フィッチの行動規範、守秘義務、利益相反、関連会社間のファイアウォール、コンプライアンス及びその他の方針・手続き等も www.fitchratings.com 上の「行動規範」でご覧いただけます。